

和歌文学に現れた「喜・怒・哀・楽」 そして「恋と愛」

最古とされる「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠めに 八重垣作る その八重垣を」という須佐之男命<スサノオノミコト>の歌から始まり、そこから無数の言葉が枝葉のように生い茂り、無数の和歌が創作されてきました。そこには、各々の悲喜こもごもの感情が込められ、今に伝わっています。

あまた創作されてきた和歌のほんのいくつかを例に、歴史とその内容を読むことをとおして、いにしえの人々の心に触れ、喜びや楽しさに笑い、悲哀を感じ取り、今につながる人の行動や心の系譜を感じてみましょう。

よみ人しらず

つきもせずうき言の葉の おほかるを はやく嵐の 風も吹かなむ (「後撰和歌集」)

この和歌は、平安時代に詠まれたものですが、今と同じ社会状況と人の心を読んでいきます。さて、どこが今と同じでしょうか。笑例会当日、一緒に考えてみましょう。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
◎日時：2026年9月12日(土) 14:00~16:00 (13:30 受付開始)

◎会場：アスト津 3階 イベント情報コーナー (津駅東口 徒歩1分)

〈講座内容〉

和歌・俳句・川柳の中から、今につながる笑いに満ちたものを中心に、そこに込められた思いに触れ、これからの人生に笑い感動と潤いを与え、新たなドア、未来のドアを開きましょう。
そして、みなさんも作品を創り、詠者の気分を味わいましょう。



〈講師〉

中條 敦仁<ちゅうじょう あつし>

皇學館大学教育学部教授・日本笑い学会三重支部支部長、専門は国語教育学。

〈お問い合わせ先〉

TEL 090-8187-6022 (中村)

Mail waraigakkaimie@gmail.com

⇒ 一般参加者・参加費：500円 ⇒ 日本笑い学会会員は無料 (会員証持参)

※事前申し込みは不要。どなたでもご参加いただけます。

当日、直接会場にお越しください！

主催：日本笑い学会三重支部